



## 剣淵町監査委員に又野博さんを任命

11月1日、町長室において、剣淵町監査委員任命式が行われました。

このたび任命を受けたのは、又野博さんです。任期は令和6年11月5日からの4年間で、4期目となります。

早坂町長から「これからも重要な業務監査へのご協力よろしくお願いします。」と言葉を述べられました。

## 富山県射水市に剣淵町から交流団を派遣

11月8日から10日の3日間、剣淵町交流団（佐々木喜芳さんを団長とする5名）が富山県射水市を訪問しました。

8日には射水市役所を訪問し、夏野元志市長、中村文隆市議会議員と懇談を行い、9日は、「第19回射水市農業産業まつり」に招待いただき、かぼちゃやキヌア、トマトジュースなどの特産品を販売しました。

佐々木団長は懇談の際に「能登半島地震で被害を受けられた射水市に心より御見舞を申し上げるとともに、旧大門町時代からの姉妹都市の関係を今後も深めていきたい」と述べられました。



▲上段左から矢萩和也さん(農業者)、尾崎満さん(農業者)、萩尾純子(町)

下段:村上知世町議会議員、中村文隆市議会議員、夏野元志市長、佐々木喜芳町農業委員会会長

### 【富山県射水市とのつながり】

姉妹都市である射水市とは旧大門町時代から約30年の交流を続けてきており、現在では、訪問をはじめ特産品販売による相互交流を行い、地域の活性化を図っています。

その他にも、パークゴルフを通じたスポーツ交流や剣淵町産のじゃがいもを使用した学校給食の提供、平成21年度から令和元年度の10年間は、農業実習で剣淵高校の生徒を射水市内の農家に受け入れていただくなど様々な交流を行っています。



▲第19回射水市農業産業まつり剣淵町ブースの様子

## 旭川市立大学・旭川市立大学短期大学部と剣淵高等学校が包括連携協定を締結

11月13日、剣淵高校において、旭川市立大学・旭川市立大学短期大学部との包括連携協定締結式を行いました。同大学と協定を結んだ道内の高校は剣淵高等学校で11校目となります。

本協定は、大学教員による出前講座やインターンシップの受け入れ、学校間での情報交換を行い、進路に対する意識を高めるとともに、地域社会を支える意欲と能力を有した人材を育成することを目的としています。

齋藤校長は、「生徒に最先端の考えや知識を学んでほしい」と剣淵高校の生徒に対して期待の言葉が述べられました。



## 第67回剣淵町文化祭（作品展示会）を開催

11月9日、10日、町民センターにおいて、第67回剣淵町文化祭（作品展示会）を開催しました。

当日は、町民センターに写真や水墨画、短歌、書道など合計253点の作品が展示され、2日間で合計100名を超えるたくさんの方が会場を訪れました。



## 第67回剣淵町文化祭（芸能発表会）を開催

11月17日、町民センターにおいて、第67回剣淵町文化祭（芸能発表会）が行われました。

当日は、剣淵小学校5年生・6年生や保育所きりん組、剣淵屯田太鼓など14団体が日頃の練習の成果を披露し、たくさんの観客を魅了していました。

## 株式会社けんぶちV I V Aマルシェが 北海道新技術・新製品開発賞（食品部門）で大賞を受賞

北海道主催の「新技術・新商品開発賞（食品部門）」において、けんぶちV I V Aマルシェの「焙煎キヌア」が大賞を受賞しました。

この賞は、道内中小企業の技術力向上を目的に1998年から始まったもので、食品、ものづくり、デザインの3部門構成となっています。

今年の食品部門には10点の応募があり、焙煎キヌアの希創性、技術、市場性を高く評価されての受賞でした。

けんぶちV I V Aマルシェの高橋朋一社長は、「キヌアを栽培してから10年経った。キヌアが商品としての価値が認められてとても嬉しい。今後もキヌア商品を開発していきたい。」とこれからの取組に対しての抱負を述べられました。

### 【キヌアとは？】

キヌアは南米産の穀物で、栄養価が高いことから「スーパーフード」と言われています。剣淵町がキヌアを栽培する南米ペルーのパルカマヨ区・タルマ市と姉妹都市提携を結んだことがきっかけに栽培を開始しました。

